

「野の花の丘便り」5月下旬

また春が来たんだね

あれほど山のようにあった雪もすっかり消えてしまいました。どんなに厳しかった冬でも春は忘れずにやって来るのですね。野の花の丘の花たちも今年も競って芽を出しています。センダイハギの黄色い花が早くも咲き始めました。今年も沢山の花が咲いてくれるのを楽しみにしています。

今年はここに咲く花を一カ所で見れる見本園を造ろうと5月14日に汗を流しました。集まった人は50代から70代の熟年世代？日頃の運動不足と不摂生で体力的には厳しいものがありました。アゴを出しながら頑張りました。

ここに咲く24種のうち18種を見本園に移植しました。そのほかにも確認ができ次第移植したいと思っています。見本園はDブロックの奥の方です、眺めて見て下さい。

頑張ったおじさんたち



お疲れ様でした



「野の花の丘便り」6月上旬

今年も頑張ってるね

5月下旬に咲き始めたセンダイハギがピークを迎えあたり一面、黄色のセンダイハギだらけになりました。

センダイハギ、ヤナギラン、オカトラノオ、エゾクガイソウ、ユウゼンギクなどが今年も頑張っています。

少し控えめなツリガネニンジン、クサレダマ、ヤマハハハコなども着実に増えています。そのほかの花も

芽を出して成長していますが、チシマアザミが残念ながら今年も芽吹きを確認できませんでした。とうとう

「野の花の丘」から駆逐されてしまったようで、近くの森林公園にあるチシマアザミの種を少し拝借して、育ててみようかと思っています。

先日蝶々を見かけました。以前はいくらでもいたようですが、いつの間にかあまり見かけなくなりました。

生まれたばかりかな？よちよち歩き？よちよち飛び？

「蝶生まれて空の広さをとまどえり」

今が盛りのセンダイハギ



これからの主役

ヤナギラン

オカトラノオ

エゾクガイソウ



「野の花の丘便り」6月中旬

もう少し待って

夏至が近づくにつれて、花たちの成長著しくなっています。6月11日に今年2回目の作業をしました。今年も厄介者のセイタカアワダチソウやその他の雑草が目立ってきており、それらの退治に汗を流しました。

また野の花の丘の一員ではありますが、センダイハギが余りに多くなりすぎ、他の花たちを駆逐してしまう恐れがあるため、Eブロック以外の間引きもあわせて行いました。作業は順調に進み、10時半頃にはほぼ終了、そのあとに凄い雨、早く終わってラッキーでした。

今はセンダイハギの黄色い花だけですが、エゾカワラマツバや、オカトラノオがつぼみをつけ始めました。7月の花のピークに向けてエンジン全開というところでしょうか。公園の中にあるハマナスの花も咲き始め、カッコウの声も聞こえ始めました。

待ちに待ってるあの夏はもうそこまで来ています。

つぼみが出てきました エゾカワラマツバ



オカトラノオ



今回もお疲れ様



「野の花の丘便り」6月下旬

エゾクガイソウ

夏至を迎え、植物の成長もピークを迎えています。センダイハギの黄色い花はピークを過ぎましたが、エゾクガイソウ、オカトラノオ、エゾカワラマツバ、ヨツバヒヨドリなどが次々と蕾をつけています。

エゾクガイソウは「野の花の丘」で存在感のある主役の花です。輪生する葉の繰り返しは九層にもなり、九蓋草とも九階草ともいいます。草丈は1.5m~2.0m、見上げるような大きさになり、鮮やかな紫色の花は下から上へと咲き、長さが20~40cmにもなります。これだけ沢山のエゾクガイソウが咲く場所はありませんかと思えます。

花言葉は「明るい家族」小さい花が密集し穂になって咲く様子が仲の良い家族のように見えるようです。

科名はオオバコ科、以前はゴマノハグサ科だったのですが、最近のミクロのゲノム解析による新しい分類体系でオオバコ科に変更になったようです。

植物の世界もDNA解析ですか、難しいですね。

エゾクガイソウ

蕾 (6月下旬)



花 (7月中旬)



「野の花の丘便り」7月上旬

蕾、蕾、蕾

もうすぐ「野の花の丘」は花の時期を迎えます。
今はその準備でしょうか、一斉に蕾をつけ出しました。
エゾクガイソウは長い蕾が紫色に色づき始めました。
ヤナギランは、気品のあるピンクの蕾がふくらみ、
気の早いやつはもう花を咲かせています。
オカトラノオは、トラのしっぽのような形の白い蕾を
ニョキニョキとのばしています。
エゾカワラマツバは、あまり目立ちませんが泡の
ような黄色い花を、控えめに咲かせています。
コバギボウシは鮮かな紫色の花を咲かせ始めました
クサレダマは、毎年花芽を食い荒らす変な白い虫が
今のところついておらず、今年は期待すること大です。
ヨツバヒヨドリは白い蕾、ヒヨドリバナは赤い蕾、
ノコギリソウはピンクの蕾、ヤマハハコは白い蕾、
蕾、蕾、蕾、もうすぐ花の季節です。

エゾクガイソウ



ヤナギラン



オカトラノオ



コバギボウシ



ヨツバヒヨドリ



ノコギリソウ



「野の花の丘便り」 7月下旬

満開!花は満開

「野の花の丘」満開!花は満開です。ヤナギラン、オカトラノオ、エゾカワラマツバ、ヒヨドリバナ、ヨツバヒヨドリ、ノコギリソウは今満開。エゾクガイソウ、コバギボウシは少しピーク過ぎたでしょうか。

ついこの前まではどこにいるのか目につかなかったオミナエシ、トモエソウもいつの間にかしっかりと黄色い花を咲かせています。見本園のカワミドリも紫の花。

クサレダマは今年は変な虫がほとんどつかず、無事に咲き始めました。期待できそう。

存在感一杯!

ヤナギラン



エゾクガイソウ



オカトラノオ



負けじと頑張る!

ヒヨドリバナ



ノコギリソウ



コバギボウシ



トモエソウ



オミナエシ



クサレダマ



「野の花の丘便り」8月上旬

秋の気配が

夏の花の代表ヤナギラン、エゾクガイソウ、オカトラノオはほぼ終わり、カワラマツバ、ヨツバヒヨドリ、ノコギリソウ、トモエソウも終わりに近づいています。代わって秋の七草のひとつのオミナエシ、キキョウの仲間のツリガネニンジン、キクの仲間のヤマハハコ、エゾノコンギクなど、秋の花が目立ち始めました。

また厄介者のセイタカアワダチソウも、残念ながら今年も元気です。抜いても、抜いても、また抜いても、生えて来るたちごっこがまた始まります。

花の世界はひそかに、静かに秋に移っていますが、世の中は夏本番、コロナを気にしながらも、中止となっていたお祭りが3年ぶりに各地で開催されています。いいですね、夏祭り。

わたあめ、おみくじ、金魚すくい(^.^♪
楽しんだのはいつの頃のことでしょう。

「遠き過去掬えば落つる金魚かな」

今はもう秋？

オミナエシ



ツリガネニンジン



ヤマハハコ



「野の花の丘便り」8月中旬

花の命は短くて

8月も中旬となると野の花の丘も随分と寂しくなってきました。エゾクガイソウ、オカトラノオ、トモエソウは早々に花は店じまい、せっせと実をつけています。

ヤナギラン、クサレダマ、ノコギリソウは花から実へと移行中、ツリガネニンジン、ヤマハハコ、カワミドリは花と実が混在しています。

オミナエシ、エゾミソハギは花のピークとなっていますが、鮮やかだった花の色が少しくすんで来ています。

これからはエゾノコンギク、ユウゼンギクなど秋の花の出番です。招かれざる客のセイタカアワダチソウも。

花の盛りは2~3週間でしょうか、「花の命は短くて」なんて言いますが、人の思いとは関係なしに花たちは「ほっといてくれ、余計なお世話だ」と言わんばかりに自分のペースで成長し、花を咲かせ、実をつけているようです。

早々と実をつけて
エゾクガイソウ

花から実へと
クサレダマ

今が花のピーク
エゾミソハギ



「野の花の丘便り」8月下旬

いつの間にか秋に

咲いている花の種類はそれなりにあるのですが、主役の花が終わったせいか、めっきりと寂しくなってきました。今日立っているのは秋の七草のひとつ、黄色い花のオミナエシくらいでしょうか。

ヤナギランはピンクの花が少し残っている程度、白い綿毛の状態です。紫色のツリガネニンジン、赤色のエゾミソハギ、ピンク色のノコギリソウ、薄紫色のカワミドリ、白色のヤマハハコなど花はだんだんと色褪せて、実をつけ始めています。

8月20日に、はびこっていたセイタカアワダチソウの除去や見本園の整理を行いました。朝7時頃にすごい雨が降り、中止かなと思っていましたが、9時頃には雨も小降りになり、決行しました。雨で服はべちゃべちゃ、草刈り機は濡れて重く大変だった一方で、土は軟らかく、雑草を抜くのには大変楽で、はかどりました。雨も悪いばかりじゃない。

ひと雨ごとに涼しくなって、いつの間にか天高く、雲は鱗雲、風はもう秋の風です。

年はとっても皆さんお元気!お疲れさまでした。



「野の花の丘便り」9月

花はどこへ行った

9月になり、咲いている花は黄色のオミナエシ、キンミズヒキ、赤色のエゾミソハギ、紺色のエゾノコンギクくらいになりました。それも本来の色ではなく、色褪せて終わりに近づいて来ました。

これからは今少し咲きかけている紫のユウゼンギクと、園路の反対側のピンク色のハギの花が、寂しくなる9月の「野の花の丘」を彩ってくれます。

今年もそれぞれが頑張って花を咲かせてくれましたが、残念ながら姿が見えなくなった花もあります。

まずエゾミソガワソウですが、何年か前には紫の美しい花を咲かせていたのですが、いつの間にか完全に姿を消してしまいました。次にチシマアザミ、これも昨年までは芽を出していましたが花は咲かず、今年は芽も出ませんでした。ハンゴンソウは芽は出たのですが、残念ながら花は咲きませんでした。

「花はどこへ行った」のでしょうか。これからどのように復活させるか、悩み多い事であります。

見えなくなってしまった花たち

エゾミソガワソウ

チシマアザミ

ハンゴンソウ



「野の花の丘便り」10月

花は枯れても

10月になっても夏のような日が続いていますが、春、夏、秋と頑張ってくれた「野の花の丘」の多くの花たちは役目を終えたようです。一方春から夏の間はどこにいたのか全く目立たなかったユウゼンギクが、9月になると忽然と姿を現わし、一面に紫色の花を咲かせています。園路の反対側のピンク色のハギの花とあわせて秋の「野の花の丘」を彩っています。

5月のセンダイハギに始まり、6月～7月のエゾクガイソウ、ヤナギラン、オカトラノオ、ツリガネニンジン、8月のオミナエシ、9月～10月のユウゼンギクなど今年もたくさんのお花々が、目を楽しませてくれました。

花は終わり、草は枯れて種子は実り、来年に向かって、しっかりと命をつないでいるようです。

「地に命託して草の枯れゆけり」

今年目を楽しませてくれた花々

センダイハギ



ヤナギラン



エゾクガイソウ



オカトラノオ



ツリガネニンジン



オミナエシ

